

# 『自分らしく生きる』～多様な性が大切にされる社会へ～



11月14日（月）に、1年生を対象に保健講演会があります。

講演のテーマは『自分らしく生きる』～多様な性が大切にされる社会へ～です。

2年生は昨年、聴講しましたね。3年生は残念ながら直接講演を聞くことはできませんでした。今回、1年生へ配布する資料から引用したものを、載せます。

★講師、清水展人（しみず ひろと）さんを紹介します。

1985年生まれ。兵庫県に長女として誕生。幼いころから性別に違和感があるものの、高校時代まで誰にも相談することができず、一人で悩んで過ごす。18歳の時に性同一性障害と診断。自分自身を受け入れること、他人に心を開くこと、親との葛藤等、社会で自分らしく生きていくことにもがき苦しんだ末、不安な気持ちを抱きながらも自分らしく生きることを選択。21歳の時に意を決して、海外で手術を行う。帰国後、裁判所にて、氏名・性別の戸籍変更を終え、戸籍上男性として生き始める。その後も社会との葛藤は続くが、平成24年に周囲に「無理だ」と言われていた結婚を叶え、現在はパートナーと不妊治療を経て2人の子どもに恵まれる。自分自身が経験してきたことを糧に、全国各地の小・中・高等学校、大学での特別授業、企業・行政・教員向けの研修や講演会等の講師として活動している。NPO 法人日本 LGBT 協会代表理事。

\*清水さんよりいただいたプロフィールを引用しました

プロフィールを見て、“もっと清水さんのことが知りたい” “LGBT について知りたい”

と思った人は・・・**学校の図書室にも、関連図書を置いています。**

★「じぶんらしく生きる～性別違和を乗り越えて～」著：清水展人

幼少期に感じた違和感、周りとの違いに気づき悩んだ思春期、「性同一性障害」を知り葛藤した学生時代から、就職や結婚までが率直に綴られています。

★「今とこれからがわかるはじめての LGBT 入門」著：清水展人

現在二児のパパとなっている著者が、自身の体験を交えて LGBT 問題とどう向き合うかを解説する入門書となっています。

★「元女子高生、パパになる」著：杉山文野

清水展人さん著書ではありませんが、LGBT 当事者の方が書かれた本です。

セーラー服を着ていた、そんな僕にこんな未来が訪れるなんて…。父として、LGBTQ ムーブメントのリーダーとして、仕事・恋愛・家族など社会の「普通」を問い直す本です。

3冊とも読みやすい本でした。

読書の秋に読んでみては？